

「恋人の聖地」にふたみシーサイド公園（伊予市双海町高岸）と松山自動車道伊予灘サービ
スエリア（S.A.同市宮下）が選ばれて六カ月。期待を寄せている。（政治部・坂本真理子）

「恋人の聖地」熱い期待

集客あの手この手

聖地は静岡市の特定非営利活動法人（NPO法
人）が地域活性化や少子化対策として二〇〇六年
度から選定。全国に約六十カ所あり、県内では初
めて選定された。

年間五十万人以上が利用するシーサイド公園
は、旧双海町時代から夕日の美しさが売り物。選
定に合わせ市などで四月に実行委員会を作り、モ
ニュメント設置や記念式典（六月）を企画してき
た。

指定管理者「シーサイ
ドふたみ」の池田武夫所
長は「（選定で）若者の割合が増えたよう
だ」。写真付き恋人証明
書（九百円）はこれまで
七十八組のカップルが
取得。今後もイベント
などを通じ利用者増を狙

「恋人の聖地」にふたみシーサイド公園（伊予市双海町高岸）と松山自動車道伊予灘サービ
スエリア（S.A.同市宮下）が選ばれて六カ月。期待を寄せている。（政治部・坂本真理子）

海岸で結婚式 会場は無料 Xマス狙いモニュメント



メント完成を急ぐ。松山自動車道の二〇〇八年お盆時期の交通量は前年比4・3%減（西日本高速道路四国支社松山管理事務所）。ガソリン価格が高い中で通行量確保は大きな課題で、聖地効果への期待は大きい。

同S.A.で営業する「伊予鉄会館（松山市）」は、選定をきっかけに若者を意識した黒猫のキャラクター「nyanda（ニャンダ）」を制作。ジュースやハンドタオルなど十四種類の限定グッズを

ふたみシーサイド公園

伊予灘S.A



「恋人の聖地」に選ばれた伊予灘S.Aの土産物売り場。限定キャラのグッズが並ぶ

11月21日午後7時過ぎ、伊予市宮下

販売し、土産物に好評と
いう。七月下旬にはパス
タなどのメニューも導入
した。

〇六年十月に臨海公園
などが聖地に選ばれた香
川県綾歌郡宇多津町で
は、行政が調整役に乗り
出し町全体の振興に力を
注いでいる。携帯電話サ
イトで恋人証明書を作る
と、飲食店など約三十店
で割引を受けられる特典

を設け、約三百組が証明
書を取得した。若者は聖地をどう見て
いるのか。「ドライブで
寄るけど買い物はしな
い」（二十代女性）とい
う声の一方、シーサイ
ド公園の帰りに伊予灘S.A
に立ち寄った二十代男女
は「夕日と夜景に感動。
ロマンチックな場所は四
国にあまりなく、PRす
れば多くの人が来る」と
評価。現地で初めて聖地
と知る若者もあり、認知
度向上が当面の課題にな
りそうだ。